

# 全仁会 ニュース News

全仁会グループ  
倉敷平成病院 広報誌

2026.2 冬号

No.120

—特集— 医療を知る 病気を知る

地域の「かかりつけ窓口」として  
「総合診療科」って  
何を診てくれるの？？



- 4 ピックアップ！ …… SPLYZA Motion (スライザーモーション) 導入について
- 6 コーヒーブレイク Vol.28 …… 倉敷老健 施設長 渡辺明良
- 7 1日10分 健康体操 …… 誤嚥性肺炎予防に！～自宅で簡単トレーニング～
- 8 季節のおたより …… 全仁会グループ 冬の行事
- 10 プロフェッショナル …… 薬剤師／倉敷平成病院 薬剤部 副主任 本田尚也
- 11 インフォメーション …… 医療費控除について  
ヘルシーレシピ …… 水菜ときんぴらゴボウのサラダ
- 12 地域とともに  
全仁会トピックス



日本医療機能評価機構  
認定第JC2072号-R



日本医療機能評価機構  
認定第JC2072号-R



## 「どこ」の科に行けばいい?」を解決する、

### 総合診療科の役割

体調が悪いとき、「頭が痛いから脳神経外科?」「熱が出たから内科?」など、何科を受診すべきか迷うことはありませんか?特に複数の症状が同時に出てる場合や、原因が特定できない「なんとなく不調」が続いている場合、どの専門科を受診したらいいのか判断に迷ってしまいますが、地域の専門科は、年齢や臓器の区別なく幅広い症状に対応する「地域の総合窓口」です。

発熱や腹痛、めまいといった急な不調から、原因がはつきりしない体調不良、複数疾患を抱える慢性期のご相談まで、多様な訴えに対して総合的な視点で診療を行います。高齢化が進む現代では、高血圧や糖尿病、骨粗鬆症など複数の慢性疾患を抱えている患者さんが多くいらっしゃいます。また、病気だけでなく、ご家庭の状況、生活環境、介護や福祉サービス利用といった、生活背景も複雑に絡み合っています。

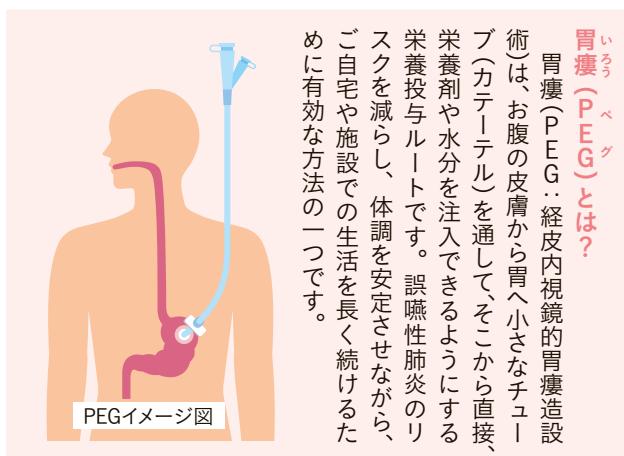
## 医療を知る、病気を知る。

特集

# 地域の「かかりつけ窓口」として 「総合診療科」って何を診てくれるの?

倉敷平成病院 総合診療科

濱井 健太



胃瘻（PEG）とは？

胃瘻（PEG：経皮内視鏡的胃瘻造設術）は、お腹の皮膚から胃へ小さなチューブ（カテーテル）を通して、そこから直接、栄養剤や水分を注入できるようにする栄養投与ルートです。誤嚥性肺炎のリスクを減らし、体調を安定させながら、ご自宅や施設での生活を長く続けるためには効果的な方法の一つです。

総合診療科では、これらの要因をすべて視野に入れ、臓器別の専門科では見逃されがちな側面も含めて、患者さん一人ひとりに最適な治療やケアを提案します。単に病気を治すだけでなく、「その人が、その人らしく生活できること」を大切にした全人的な医療を実践しています。

内服薬が多く整理してほしい」「検査結果について相談したい」——そんな時こそ、総合診療科を受診ください。初期診断から必要な専門科への橋渡しまで、患者さんの状況に合わせて最短距離で最善の医療へつなげます。

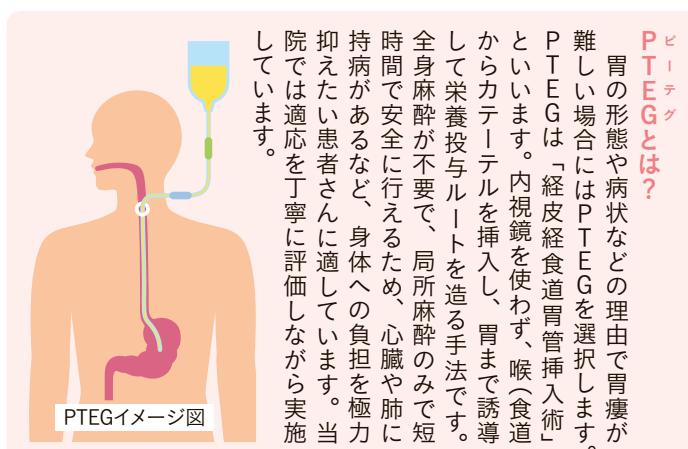
### 胃瘻・PEGによる栄養管理

総合診療科では、患者さんが住み慣れた地域で、安心して生活を続けていくため、栄養管理にも力を入れています。特に、嚥下（飲み込み）機能の低下などで、口から十分な栄養が摂れなくなつた方に対して、胃瘻造設術（PEG）やPTEG（経皮経食道胃管挿入術）を行っています。栄養管理は、在宅での療養生活を続ける上で非常に重要です。総合診療科は、この胃瘻・PEGの造設から、その後の管理や交換まで、一貫してサポートしております、地域の皆様の質の高い療養生活に貢献してまいります。

多職種と連携した包括的な医療

総合診療科の診療は、医師だけでは成り立ちません。看護師、リハビリ、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーといった多職種が患者さんの情報を共有し、最適な医療と生活支援を提供します。多職種連携を強化し、地域の皆さまが自ららしい生活を続けられるよう支援してまいります。

地域の「かかりつけ窓口」として  
「受診したけれど、何科に行くべきか



これから総合診療科

問題はより複雑になっています。病気だけを治す医療から、生活・介護・地域とのつながりまで含めて支える医療が必要とされるなか、総合診療科の役割は今後さらに重要になります。当科は今後も多職種連携を強化し、地域の皆さまが自分自身のちょっとした困りごとでも構いません。総合診療科は地域の皆さまにとって最も身近な医療のパートナーとして、これからも寄り添い続けます。

### PTEGとは？

胃の形態や病状などの理由で胃瘻が難しい場合にはPTEGを選択します。

PTEGは「経皮経食道胃管挿入術」といいます。内視鏡を使わずに喉（食道）からカテーテルを挿入し、胃まで誘導して栄養投与ルートを作る手法です。全身麻酔が不要で、局所麻酔のみで短時間で安全に行えるため、心臓や肺に持病があるなど、身体への負担を極力抑えたい患者さんに適しています。当院では適応を丁寧に評価しながら実施しています。

また、地域包括ケアシステムの中核として、在宅医療や介護事業所とともに連携し、救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」という倉敷平成病院の理念の下、急性期から在宅復帰まで一貫して支援を提供できる体制づくりも進めています。健康についての不安や、生活の中でのちょっとした困りごとでも構いません。総合診療科は地域の皆さまにとって最も身近な医療のパートナーとして、これからも寄り添い続けます。



消化器科専門医と2名体制で胃瘻造設術を行う

## 総合診療科

総合診療科は、年齢や臓器にとらわれず、幅広い症状や健康問題を総合的に診る診療科です。

原因がはっきりしない不調や、複数の病気を抱える患者さんに対し、生活背景も踏まえて診断・治療を行います。

必要に応じて専門診療科と連携し、身近で頼れる「最初の窓口」として地域医療を支える役割を担っています。

外来診療表

	月	火	水	木	金	土
午 前 8:30~12:00	—	—	濱井	—	○ 第1・4	—
午 後 13:30~17:00	—	—	高尾 聰	濱井	—	—

TEL 086-427-1140 [予約専用]

# SPLYZA Motion

(スプライザモーション)

## 導入について

—Aーが動きを読み取る!

**最先端リハビリ解析システム**

Aーによる3D動作解析システムの導入

倉敷平成病院リハビリテーション部では、令和7年7月よりAーによる3D動作解析が可能な最新のモーションキャプチャ「SPLYZA Motion（スマートライザモーション）」を導入しました。これは、専用マーカーを身体に貼り付けることなく、カメラ映像から身体の動きを自動で解析できるシステムです。

従来のモーションキャプチャでは、多くのマークを装着し、広い専用空間や特別な設備が必要でしたが、このシステムではタブレットやスマートフォンで簡単に撮影・解析が可能です。そのため、より気軽に動作を記録し、日常のリハビリ場面でも活用できるようになりました。

動きの「見える化」で視覚的に確認

SPLYZA Motionの特長は、動きを「見える化」であります。JUJUです。

たとえば歩行や立ち上がりの様子を撮影すると、関節の角度や重心の動きなどがグラフや映像で表示されます。これにより、患者さん自身が「どのように動いているのか」「以前と比べてどう変わったのか」を視覚的に確認できるようになりました。

スタッフだけでなく、患者さんも一緒に変化を共有できる点が大きな魅力です。

一人ひとりに最適なアプローチ方法の検討

また、客観的なデータをもとに、治療前後の動きの違いを分析できるため、より的確なリハビリプランの立案にも役立ちます。

たとえば、「下肢装具を使ったときの歩行」と「使わないときの歩行」を比較したり、「筋力トレーニング後に動きがどのように改善したか」を確認することで、一人ひとりに最適なアプローチ方法を検討することが可能になりました。



解析結果を元にディスカッション



身体の動きを撮影（右）したものを解析し、データとして表示します（左）。

着替えや機器装着の手間が不要になり、患者さんへの負担がぐっと減りました。

また、ご自身では変化を実感しにくい患者さんにも、動画とデータでの比較や、グラフや数値として可視化したものを客観的に示すことで違いが明確になり、「治療をやって良かった」と効果を実感していただく手助けになっています。



SPLYZA Motion  
WEBサイト



山崎理学療法士  
インタビュー

SPLYZA MotionのWEBサイトに、  
山崎理学療法士のインタビューが掲載されました。

今後も当院では、最新技術を活用しながら、患者さん自身が変化を実感しながら取り組めるリハビリの実現に努めてまいります。

## リハビリテーション部 動作解析チーム

P.T科副主任

理学療法士

写真左

山崎 誠



倉敷平成病院に勤務する医師の  
オススメの食べものや曲などの紹介、  
趣味の話や旅行記など…  
どんなお話を聞けるかな？



仲良く散歩中 (F3号)



我が家に来たての  
アンジュ 3ヶ月 (F0号)

## 70の手習い、水彩画

20年前のこと学会会場で講演を聴いていた時、突然携帯電話の振動が胸に伝わってきた。病院からの緊急連絡かと思いながら会場の外で電話に出ると「お父さん、黒のトイプードルを飼つてもいい？」賢そうな男の子」と長女からの声がした。「ムック（その時飼っていた雑種）がいるじゃないか。よく考えなさい」と返事をして電話を切った。ところが学会会場から帰宅してみると、真っ黒でどちらが頭かお尻かも分からぬ子犬がケージの中で眠っていた。名前はココである。

13年前のこと、今度は妻から「レッドの可愛い女の子がいるの、見に来てくれる？」との電話があり、仕事帰りにお店に寄つてみた。生後2ヶ月で片手に乗るほどのトイプードルだ。そして、その日からアンジュ（その子の名前）は、ココとの楽しい生活が始まった。

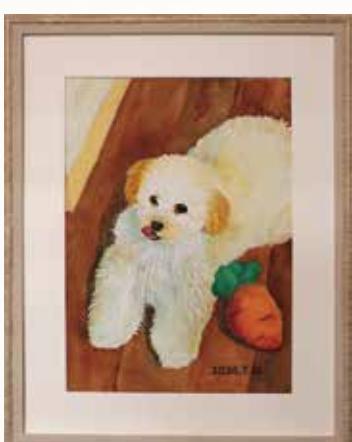
ところが2年前の4月アンジュを全身痙攣が襲つた。薬を飲み始めたが昨年の3月に痙攣重積で亡くなつた。おそらく脳腫瘍ができていたのだろう。そして、遊び相手がいなくなつたためかココも力が弱つてゆき今年の3月、19歳6ヶ月で亡くなつてしまつた。

アンジュが亡くなつてからというもの、元気な頃の写真を見ては悲しい思いに沈んでいたが、その気持ちを絵に描くことで紛らわそと心に決めた。始めはF0号の小さなスケッチブックに描き始め、並行してYouTubeで透明水彩の描き方を学んでいった。そこで初めて透明

水彩で白を表現するときは「紙の白」を使う（残す）ことを知つた。高校時代の美術の時間では、油絵の具の「白」を多く使つていたので驚きであつた。そしてF3号、F4号と徐々に大きな水彩紙に描くようになつた。主に土日の夕方の時間を使って、これまでに40枚近く描いたと思う。

黒い毛並みのココも描いてくれという娘たちからの注文もあり、挑戦してみたが、絵の具の「黒」をほとんど使わずに、色の3原色（赤、黄、青）を用いて描くとなんとなく立体的に見えてくるものである。どの絵でも私は最後に目を描くようにしている。すると、それまでただ色のついた形に過ぎなかつた絵が急に生きたアンジュやココになるのである。絵を描いて初めて体験する不思議な感覚である。

今は、クリーム色（ほとんど白）の生後4ヶ月の女の子のトイプードル（名前はNORA・野良犬ではない）が家族の一員となつている。そして、ほとんど「紙の白」になつてしまふのではないかと不安を抱きながら描き始めたが、青や緑を使うことで白を強調しつつ、何とか舌をペロリと出した瞬間を描くことができた。



NORA 4ヶ月 (F4号)



右／アンジュ (F4号)  
左／ココ (F4号)



倉敷老健 施設長 渡辺 明良

岡山県総社市出身。東京都立小石川高等学校、新潟大学医学部卒業。新潟大学脳研究所、長野赤十字病院、諏訪湖畔病院、川崎医科大学講師を経て笠岡第一病院総合診療部長。2022年4月に倉敷老健に入職、2025年1月に施設長に就任。

医学博士、脳神経外科専門医、脳卒中専門医、頭痛専門医・指導医、老人保健施設管理認定医。



# 1日10分 健康体操

## “誤嚥性肺炎予防に！ ～自宅で簡単トレーニング～”

倉敷平成病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 藤川 奈央

現在、死因の第5位が肺炎であることをご存じでしょうか。肺炎患者のうち、80代では約8割、90歳以上では約9.5割以上が誤嚥性肺炎であったと報告されており、肺炎の中でも特に誤嚥性肺炎の占める割合が高いことがわかっています。

誤嚥性肺炎の予防においては、呼吸機能や舌の機能がとても重要です。今回は、唾液や水でむせた際に必要となる、痰をしっかりと喀出するための「呼吸筋トレーニング」をご紹介します。

### セルフチェック

大きく息を吸って、できるだけ長く「アー」と声を出し続けます。

**10秒未満の場合** ⇒ 呼吸機能が低下しているといわれています。

### 呼吸筋のトレーニング

#### 今すぐできるトレーニング！ 目安 5秒×5回=1セット



5秒、強く!  
唇をすばめて鼻から大きく息を吸って、約5秒間、できるだけ強くティッシュペーパーを吹き続けます。



大きく息を吸ってから、ガーゼやハンカチをしっかり口に押し当て、約5秒間、できるだけ強く口から息を吹き続けます。

#### ペットボトルを使ったトレーニング！ 目安 5秒×5回=1セット

- 500mlの空の軟らかいペットボトルを用意します。



1, 2, 3, 4, 5



オー…



ウー…

大きく息を吐いてから、ペットボトルをしっかり口にくわえます。約5秒間、できるだけ強く息を吸い続けます。

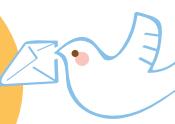
ペットボトルに水を入れ、差し込んだストローをくわえます。約5秒間、「ウー」または「オー」と声を出し続け、水を泡立たせます。

動画で紹介しています！ →



# 季節のおたより

倉敷在宅  
総合ケア  
センター



## 町のお節介屋さん

倉敷市老松・中洲高齢者支援センター

社会福祉士 課長 福田 忍

老松・中洲高齢者支援センターは、老松・中洲小学校区の65歳以上の方々が、住み慣れた地域で安心・元気に暮らせるよう、サポートしています。医療や介護、保健、福祉に関する相談に対応できるよう、看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士、介護支援専門員の11名で支援しています。私たちの業務内容は多岐に渡ります。ある日の支援センターの一日をご紹介します。支援センターでは、毎年1～2回支援センター通信を発行しています。この日は次回の発行に向けて打ち合わせをしました。



その後、地域の高齢者のお宅を訪問し、お困り事がないか等の聞き取りや地域のニーズを把握します。それが済むと、市役所へ介護保険の申請代行に出かけました。

午後からは介護予防教室（元気教室）を開催し、ご参加の方と一緒に

学びや運動をしました。その後、介護サービスを利用している担当者のお宅を訪問し、お変わりないか確認します。



介護予防教室（元気教室）の様子

「隣のおばあちゃん最近元気ないみたい…心配だなあ」  
「介護サービスを利用するにはどうしたらいいの？」  
「身体を動かしたり友だちとおしゃべりできるところはないかな？」  
「玄関に手すりを付けたいなあ」

事務所に帰ってきてからは、高齢者の虐待の相談にも対応しました。夏はエアコンを使用されないご高齢のお宅を訪問し、安否確認することもあります。実態把握調査では、訪問調査を拒否されることもありますが、私たちは、これからも地域の高齢者が元気で暮らすためのお節介屋さんでありたいと思っています。

「これって、どこへ相談したらいいのかな？」と思つたら、まずは高齢者支援センターへご連絡ください。

## 倉敷市老松・中洲高齢者支援センター

(倉敷市委託事業)

### 老松・中洲高齢者支援センターの1日

- 8:30 朝礼 今日の予定を確認します
- 8:45 打ち合わせ 年2回の新聞発行のため、関係部署と相談
- 9:30 実態把握調査 65歳以上の方のお宅を訪問します
- 11:00 市役所へ 介護保険の申請を代行します
- 12:00 昼休憩
- 13:30 介護予防教室（元気教室）開催 倉敷西公民館と労働会館で定期的に教室を開催しています
- 15:30 モニタリング 介護サービスを利用している方のお宅へ様子確認のため訪問します
- 16:30 電話相談 来所や訪問でも相談を受け付けています
- 17:00 終礼 申し送り事項等を共有します
- 17:15 退社

所在地 倉敷市老松町4-3-38  
(倉敷在宅総合ケアセンター1階)

T E L 086-427-1191

窓口対応時間 8:30～17:15

休業日 日・祝祭日・年末年始（12/30～1/3）



# 季節のおたより

- 倉敷老健
- 倉敷在宅総合ケアセンター
- ピースガーデン倉敷
- ローズガーデン倉敷
- グランドガーデン南町
- ドリームガーデン倉敷

※感染対策を行い行事・活動を行っています。写真掲載の許可をいただいています。

子どもたちとご入居の方がペアになり、ゲームやクイズ、プレゼント交換を楽しんだ後、皆でクリスマスソングを合唱しました。（吉岡）

はじめは少し照れた様子だった皆さんも、孫やひ孫のような子どもたちと触れ合ううちに自然と笑顔があふれ、温かな雰囲気に包まれていました。（吉岡）

## ケアハウス ドリーム ガーデン倉敷

### 八軒屋子供会との 交流会

地域交流の一環として、12月7日（日）に八軒屋子供会の皆さんをお迎えし、交流会（フリスマス会）を開催しました。



11月26日（水）に音楽ボランティア「ミントリーフ」をお招きし、エレクトーンの演奏や世界の歌、日本の歌を楽しみました。

ご入居の皆さんも参加し、演奏に合わせて歌ったり踊ったりと、笑顔あふれる楽しいひとときを過ごされました。音楽からたくさんの元気をいただき、これからも健康な毎日が送れそうです。（森）

## グランド ガーデン 南町

### 芸術の秋

グランドガーデンでは「芸術の秋」にちなみ、「ミントリーフ」をお招きし、エレクトーンの演奏や世界の歌、日本の歌を楽しみました。



## 倉敷老健

12月20日（土）、クリスマス会を開催しました。

ご入所の皆さんと一緒に、紙コップを使って手を伸ばせるところまで高く一つひとつ積み重ね、手作りのクリスマスツリーを完成させました。また、音楽に合わせてプレゼント袋にお手玉を投げ入れるレクレーションをし、大きなクリスマスプレゼントが完成しました。最後には、お一人ずつ記念撮影を行い思い出に残るひとときとなりました。（片山）



## ピース ガーデン倉敷 グループホーム

### 皆で大掃除

12月中旬、ご利用の皆さんと一緒に大掃除を行いました。

窓拭きやカーテン、換気扇、居室の棚など、1年分の汚れを丁寧に落としました。「きれいになると気持ちいいな」といった声も聞かれ、終始和やかな雰囲気の中で楽しく取り組むことができました。

令和8年も「笑うのぞみに福来たる」を合言葉に、笑顔あふれる毎日を大切にしていきます。（江國）



11月21日（金）、今回は少し足を延ばし、坂出方面まで行つきました。「県立東山魁夷せとうち美術館」では『芸術の秋』を感じ、「海鮮ほんまる」では『食欲の秋』を満喫。

穏やかな天候にも恵まれ、皆さんにとつて思い出に残る、ちょっとした小旅行となりました。（猪原）

## ローズ ガーデン 倉敷

### お食事ツアーソー坂出編

倉敷では、毎月恒例のお食事ツアーとして、倉敷市近辺のお店を予約し、ドライブを楽しみながらランチに出かけていきます。





# Professional

[Vol.28] 薬剤師

倉敷平成病院 薬剤部

副主任 本田 尚也

“切れ目のない  
医療を提供する”

チーム医療の一員であり、薬の専門家として患者さんに寄り添う、病院薬剤師をご紹介します。

切れ目のない医療を提供していくことが重要な役割だと考えています。

持つて仕事に取り組んだり、活躍の場を広げたりすることができます。

Q. 薬剤師を目指したきっかけは?

小さい頃からテレビを見るのが好きで、医療系のドラマもよく見ていましたため、漠然と将来は医療系の仕事を就きたいと考えていました。様々な職種がある中で薬剤師を目指した理由はいくつもありますが、純粋に「なぜ薬は効くのか」という疑問を解決したかったのが大きな理由です。

調剤薬局、製薬企業などいくつかの就職先がある中で、病院勤務を選択したのは、実務実習の際に多職種連携に大きな魅力を感じたからです。それぞれの職種がそれぞれの見地から意見を述べ、時には良い意味で衝突しながら、患者さんにとって最適な医療を提供するために尽力する姿はとても魅力的であり、私もチーム医療の一翼を担う存在になりたいと思い、病院勤務を選択しました。

Q. 患者さんとのコミュニケーションで意識していること

患者さんとの面談の際、必ず「何かお困りのことはないですか」「また来ますね」と言うようにしています。病気への不安、入院に対する不安、退院後の生活に対する不安、患者さんは入院に伴いたくさんの不安を抱えることになりますが、そのような状況で、気にかけてくれる人、また来てくれる人がいるというだけで、大きな安心感が生まれるのではないか。月並みな表現ですが「患者さんに寄り添う」ということを一番意識しています。

Q. 休日の過ごし方は?

休日はもっぱらバスケットボールの試合観戦に行き、推し選手の写真撮影をしています。数年前まで、まさか自分が、いわゆる「推し活」をするなんて思ってもみませんでした。推し活をきっかけに新たな出会いにも恵まれ、推しの活躍が仕事を頑張るために原動力にもなっています。

Q. 薬剤師を目指している方に送りたいメッセージ

以前は「薬と向き合う対物業務」が中心でしたが、現在は「患者さんや他の医療職種と向き合う対人業務」にシフトしており、薬学的な知識に加え、「コミュニケーションスキル」も必要とされています。しかし、実際に患者さんや他職種とどのようにコミュニケーションをとっているかは、現場でしかわかり得ないと思われます。ぜひ、積極的に病院見学に参加し、現場を見てもらいたいです。いつでもお待ちしております。

\*1 薬アドヒアランス不良：患者が処方通りに薬を使用しないことで、医療費の増加などの問題がおこること

\*2 ポリファーマシー：多くの薬を服用していながら、副作用があきたり、正しく服用できなくなったりしている状態

Q. 病院勤務の薬剤師の役割とは

入院は、誰にとっても好ましくない出来事である一方で、入院をきっかけとして、既往歴、生活環境、処方歴など様々な情報が集約される機会であります。その中で、病院薬剤師としては、「服薬アドヒアランス不良<sup>\*1</sup>」や「ポリファーマシー<sup>\*2</sup>」などの薬学的な問題点を抽出し、解決に向けて取り組むと同時に、かかりつけ薬局と連携（薬薬連携）し、

医療は日々進歩するため、資格取得後も、研鑽を重ねる必要がありますが、資格を取得することで自信を得



倉敷老健  
高垣 亮

## information

### 医療費控除について

医事課 妹尾 愛梨

#### 医療費控除とは

その年の1月1日～12月31日までの1年間で支払った医療費が10万円(総所得金額が200万円未満の人は総所得金額×5%)以上だった場合に受けることできる所得控除の1つです。

#### 対象者

納税者本人だけでなく、生計を一にするご家族の医療費も含まれます。

#### 医療費控除の対象となる費用

- 病院や診療所等に支払った治療費・入院費
- 病気やけがの治療・療養のために購入した医薬品の代金
- 歯科治療（歯列矯正費用等も対象）等

#### 医療費控除の対象外となる費用

- 美容外科での自費診療
- 人間ドックや健康診断の費用
- インフルエンザ等の予防接種 等

#### 控除額の計算方法

医療費控除の控除額は

「支払った医療費－保険金等で補填された金額－10万円（または所得の5%）」（最高200万円）  
で計算されます。

#### 申請方法

- 確定申告  
(対象となる年の翌年2月16日～3月15日)
- スマートフォンやパソコンからの電子申請も可能

近年は税務署に行かなくてもスマートフォンで簡単に申請できるようになりました。

マイナンバーと連携することで、確定申告書の該当項目へ医療費情報を自動入力する機能もあります。  
対象になる方はぜひ活用してみてください。

## Healthy Recipe ヘルシーレシピ

倉敷平成病院 管理栄養士 守屋 友香



寒い時期に温かいサラダはどうでしょうか。いつものきんぴら

ゴボウに水菜を加えるだけでボリュームのある1品に。

サラダには定番のドレッシングを使用しないで減塩にもなります。レンコンチップスを添えてアクセントにしました。



### 水菜ときんぴらゴボウのサラダ

栄養成分 1人分 エネルギー：40kcal 塩分：0.2g

#### 材料 [4人分]

水菜	50 g	A	濃口しょうゆ	小さじ1
ゴボウ	60 g		酒	大さじ1/2
ニンジン	30 g		砂糖	小さじ1
ごま油	小さじ1		みりん	小さじ1/2
レンコン	20g		酢	小さじ1/2
サラダ油	適量			

#### 作り方

- 1 水菜は4cmの長さ、ニンジン、ゴボウは4cmの細切りにする。ゴボウは5分間水にさらしてざるに上げる。
- 2 レンコンは薄切りにしたものをおで揚げ、レンコンチップスを作つておく。
- 3 フライパンにごま油をひき、ニンジン、ゴボウをしんなりするまで炒める。
- 4 3にAを加え、汁気がほとんどなくなるくらいまで炒める。
- 5 4をボウルに入れ、熱いうちに水菜と和える。  
2を飾つて完成。

## 第2回 DBS患者・家族会を開催しました

いつも当院の地域連携業務にご協力いただきありがとうございます。

倉敷ニューロモデュレーションセンターでは、2024年から年に1回開催しているDBS(脳深部刺激療法)患者・家族会を、2025年11月8日(土)に開催しました。当日は県内だけではなく中四国地方から多くの方が来院、38名の方が参加してくださいました。

会では日頃の不安やDBSへの疑問など活発に意見交換を行い、難病患者自身がご自分の最期をどうしていきたいか、ACP<sub>\*</sub>を考える機会となりました。

会の最後は患者さん同士で連絡先を交換するなどの場面もみられ、終始笑顔が絶えない会となりました。今後もこのような患者・家族会を開催していきたいと考えております。

地域医療連携センター 課長 山川 恒子



\*ACP：人生会議  
もしものときのために、将来希望する医療やケアについて本人・家族・医療ケアチームが前もって繰り返し、話し合い共有する取り組み。

### 地域とともに

ご不明な点がございましたら、  
お気軽に下記までお問い合わせください。

倉敷平成病院 地域医療連携センター

TEL 086-427-6550 (直通) FAX 086-427-1197 (直通)

窓口対応時間

月曜日～金曜日 8:30～17:00  
土曜日 8:30～12:00

11/22

第38回 神経セミナー「脳卒中のチーム医療」開催

Topics  
全仁会

隠明寺P.T.科長



菱川教授



11月22日(土)、当院救急棟4階にて第38回神経セミナー「脳卒中のチーム医療」を開催し、154名の方にご参加いただきました。

話題提供では、当院リハビリテーション部 隠明寺悠介P.T.科長が「回復期リハビリテーション病棟における脳卒中リハビリの最近の取り組み」と題して発表しました。回復期病棟の役割、脳卒中後のリハビリ、脳の可塑性、生活期とのシームレスな連携という4つの視点から、A-Iを活用した多職種協働の重要性が示されました。

特別講演では、川崎医科大学脳神経外科学教授 菱川朋人先生をお迎えし、「脳卒中の外科治療アップデート」と題してご講演いただきました。脳血管内治療における最新の血栓回収療法やステント留置術などについて、動画を交えて分かりやすく解説されました。

さらに、「もやもや病」について、発症年齢や病態、年間200名以上を診療する豊富な経験を基に、高次脳機能障害や学習障害へのリハビリ連携、学校・家庭・社会的取り組みも印象的でした。

本セミナーを通じ、最新治療とリハビリ、多職種連携の意義について理解を深める貴重な機会となりました。 広報課



10/28

## 母校のパンフレット 制作に協力しました



このたび、令和8年度朝日医療大学校のパンフレットに、倉敷平成病院のリハビリストッフ（理学療法士・言語聴覚士）が卒業生として紹介されることになりました。

10月28日（火）には、大学入試広報部の方がカメラマンとともに来院され、院内での写真撮影が行われました。撮影とあわせて、なぜこの職業を選んだのか、入職1年目に感じた難しさや成長、今感じているやりがいなどについてもアンケート取材されました。

これから医療の道を目指す学生さんたちに、少しでも参考になれば嬉しく思います。

広報課

10/30

## 岡山操山中学校1年生 の校外学習に取材協力



10月30日（木）、岡山操山中学校1年生4名が校外学習の研究取材に来院され、当院整形外科部長・スポーツリハビリテーションセンター長平川宏之医師と小亀淑子理学療法士が協力しました。それぞれの研究に関する質問を積極的に行い、真剣な様子でアドバイスを聞いていました。勉強中にできる筋トレや、ダイエットする女性への健康を意識したすじろく作りなど、中学生らしい視点の研究に取材協力した2名も終始笑顔で応えていました。

皆さんの研究が実を結ぶよう応援しております。

広報課

11/7

## 献血へのご協力 ありがとうございました



11月7日（金）、当院に献血バスがやってきました。当日は14名の方が受付され、実際に献血された方は11名でした。献血は、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの命を救うため、健康な人が無償で自分の血液を提供するボランティアです。

献血予約や問診ができる、献血Web会員サービスアプリ「ラブラッド」も上手く活用し、ぜひ献血にご協力ください。

今回、献血にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。次回も積極的なご協力をよろしくお願いします。

広報課

11/9

## おかやまマラソン 2025 医療スタッフ参加



11月9日（日）、おかやまマラソン2025が開催され、当院からAED班として医師・臨床工学技士各1名、救助スタッフとして看護師2名が参加しました。

当院は時折激しい雨が降る厳しいコンディションの中、それぞれの担当に分かれ、任務を遂行しました。

当院は「救急から在宅まで何時いかなる時でも対応します」という理念のもと、地域に根差した医療を提供しています。

今後も、おかやまマラソンをはじめとする岡山県内のイベントに対し、医療という形で貢献できるよう、活動を継続してまいります。

臨床工学技士 主任 高須賀 功喜

11/8

## 令和7年度岡山県看護学会 倉敷平成病院看護部発表



11月8日(土)、岡山県看護会館で開催された「令和7年度岡山県看護学会」に、倉敷平成病院看護部が参加しました。今年度のテーマは「人生100年をいきいきと暮らす～看護のありかたを考える～」。少子高齢化や医療の高度化が進む中で、地域で支える看護の役割を改めて見つめ直す内容でした。

当院からは、「褥瘡の予防・治療における褥瘡専任看護師の役割の明確化」について発表を行いました。専任看護師への意識調査をもとに、役割の明文化や教育体制の整備、専任医師との連携強化を進めた取り組みを紹介し、チーム医療による褥瘡対策の質向上をめざした取り組みを報告しました。

会場では多職種連携や教育支援に関する活発な意見交換が行われ、看護の専門性をさらに深める貴重な機会となりました。今後も学びを現場に活かし、より良いケアの提供に努めてまいります。

3西病棟 師長 細田 尚美

Topics  
令二年

11/29

## 「ヨガで楽しく認知症予防・ 介護予防」開催



11月29日(土)、国民宿舎サンロード吉備路にて岡山県備中県民局主催の「ヨガで楽しく認知症予防・介護予防」が開催され、当院から脳神経内科科部長 菱川望医師と三宅理学療法士が講師として、認知症予防の講義およびヨガの実技指導を行いました。

当日は約40名の方にご参加いただき、菱川医師の落ち着いたリードのもと、参加者の皆さんには呼吸と動きの調和を感じながら、ゆったりと体を動かしておられました。

終了後には、「体

がぱかぱかと温まつた」「ぜひ継続して取り組みたい」といった感想が多く寄せられました。

今回2回目となるこの講座ですが、今後も地域の皆さんの健康増進と認知症予防に向けた取り組みに協力できればと考えております。

広報課



12月6日(土)に認知症疾患医療センターで、第13回「わくわくカフェ」を開催し、19家族・計37名の皆さんにご参加いただきました。

講演では、通常のもの忘れと認知症によるもの忘れの違いや認知症予防に効果的な脳を守る3大要素(栄養・運動・交流)に関するお話があり、メモを取りながら受講する方々もいらっしゃいました。グループごとの自己紹介で緊張をほぐし、体操やクリスマスのハンドベルを用いて「レーションする創作、完成したベルを使って「ジングルベル」の歌に合わせて演奏を行いました。最後に歌唱した「上を向いて歩こう」では、スタッフによるピアノとギターの生演奏に加え、患者さんのハーモニカも加わり会場全体が素敵な音楽に包まれました。

参加されたご家族の方からは、「両親が他のご家族と楽しそうに話す姿を見てもっと交流させてあげたいと感じた」「家族同士の悩みを話し合い、気分がすつきりした」などの声をいただきました。わくわくカフェが患者さんとご家族を明るく笑顔にする交流の場となるよう、これからも精進しております。



12/6

## 第13回わくわくカフェ開催

認知症疾患医療センター  
公認心理師 安信 陽菜

12/11

## スクールトレーナー事業 部活動指導実施



12月11日(木)、スクールトレーナー(SCT)事業の一環として倉敷市立西中学校の部活動指導を当院スポーツリハビリテーションセンターの濱田(P.T.、SCT)と県内スクールトレーナー5名で行いました。当センター長平川宏之医師の監修のもと、「ケガを予防するためのストレッチングと体の使い方」というテーマで講義と実技指導を行いました。県内SCTの協力もあり、競技に応じた内容で指導を行うことができ、生徒たちも真剣に取り組んでくれました。学校の先生方からも喜びの声をいただきましたが、今後も少しづつ活動の幅を広げていけたらと思います。子どもたちの身体の一極化(運動不足と運動過多)が問題視される中、スクールトレーナー制度は2024年度から全国で開始され、岡山県内でも少しづつ活動の場を広げています。現在、県内で6名がスクールトレーナーの認定を受けて活動しています。

今後も子どもたちの運動器の健康を守るために、行政や医師、教育機関と連携をとりながら活動を進めてまいります。

スポーツリハビリテーションセンター  
PT副主任 濱田 智

12/26

## 回復期リハビリテーション病棟にてクリスマス会2025開催

12月26日(金)、当院回復期リハビリテーション病棟にて、クリスマス会を開催しました。

会場では、赤いサンタ帽やトナカイのチューリーシャを身につけた患者さんの姿があちこちに見られ、いつもとは少し違う、わくわくした雰囲気が広がっていました。



音楽療法の一環として、職員によるフルートとピアノの演奏が始まると、やさしい音色のクリスマスマドレーが病棟に響き渡り、自然と口ずさむ声が聞こえきました。患者さんは手作りの楽器を手に、それぞれのペースで音楽を楽しんでいました。

また、今回は院内保育の子どもたち5名も参加してくれました。患者さんから子どもたちへ、心を込めて用意したプレゼントを手渡す場面があり、会場は自然と笑顔とあたたかな拍手に包まれました。患者さんも子どもたちも穏やかな表情を見せ、楽しそうな様子がとても印象的でした。短い時間ではありましたが、音楽を通して同じ時間を共有し、世代を超えたふれあいを感じられる、心温まるクリスマスのひとときとなりました。

4階西病棟 介護副主任 大岡 信太郎

1/10

## 全仁会グループ新年会

1月10日(土)、倉敷アイビースクエアエメラルドホールにて「令和8年全仁会グループ新年祝賀会」が開催され、岡山大学医学部教授石浦浩之先生はじめとした多くのご来賓の方を含む約270名の方がご参加くださいました。

高尾理事長よりスローガン「さあ、行こう!~心

をひとつに未来の全仁会へ~」が提示され、多くのご来賓の方からご祝辞を賜りました。

また、永年勤続職員への表彰や、『第32回全仁会研究発表大会』の結果発表と理事長賞を受賞した部署への表彰、演芸ではウクレレ部による生演奏や、野球部による一発芸、レクリエーション委員会による福引が開催され、大いに盛り上りました。

全仁会は多くの方に支えられ、創立38周年を迎えた。これからも患者本位の医療・介護サービスの提供に努めてまいります。

広報課



